

公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団

I 法人の概要（平成 31 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市小倉北区室町一丁目 1 番 1 号

2 設立年月日

昭和 51 年 4 月 1 日

3 代表者

理事長 北橋 健治（令和元年 6 月 24 日就任）

4 基本財産

5,000 千円

5 北九州市の出捐金

5,000 千円（出捐の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	11 人	0 人	1 人	10 人
常 勤	0 人	0 人	0 人	0 人
非常勤	11 人	0 人	1 人	10 人
職 員	82 人	8 人	1 人	73 人

7 市からのミッション

市民の芸術文化の振興に関する事業や埋蔵文化財の調査、研究及び保護等を行い、市民生活の向上と市民の豊かな芸術文化の創造に寄与する。

II 平成 30 年度事業実績

《総括事項》

本財団は、市民の芸術文化活動の振興に関する事業を行うと共に、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保護等を行い、文化の薫るまちづくりと市民の豊かな芸術文化の創造に寄与することを目的としている。

平成30年度も、引き続き北九州市より指定管理者の指定（期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日）を受け、北九州市の文化拠点「北九州芸術劇場」、全国的にも優れた音響効果を誇る音楽専用ホール「響ホール」、市民の芸術文化活動支援施設「大手町練習場」の3つの芸術文化施設等の管理運営を行った。また、これらの施設を活用し市民が優れた芸術文化に接する機会や市民の文化活動の場を提供する等、市域の芸術文化活動の振興に取り組んだ。

まず、舞台芸術の振興では、「北九州芸術劇場」を中心に「創る」「育つ」「観る」「支える」をコンセプトに、オリジナルの舞台芸術作品の製作・上演による全国への発信、舞台芸術の手法を使った人材育成や教育普及事業の実施、芸術性あふれる優れた公演を市民に幅広く提供するなど多様な事業

を行った。

平成30年度もこれら4つのコンセプトに基づき事業を実施。北九州芸術劇場プロデュース九州男児劇「せなに泣く」を企画製作したほか、山海塾の4年ぶりとなる新作をパリ市立劇場、山海塾との共同プロデュースにより世界初演、市民参加企画である合唱物語「わたしの青い鳥2018」、北九州芸術劇場+市民共同創作リーディング「Re:北九州の記憶」など創造事業4件、開館15周年を迎えるリバーウォーク北九州との共同による「地域のアートレパートリー創造事業」、「夏休み！子どもの劇場体験2018」や「高校生〔的〕シアター」等の学芸事業10件、「寿歌」やNODA・MAP「贗作 桜の森の満開の下」、ストップギャップダンスカンパニー「エノーマスルーム」等の公演事業15件、関係団体との提携で様々なジャンルを公演する共催・提携・協力事業5件を実施。また、商店街や交通機関、観光など様々な分野と連携しアートプログラムを行う「北九州舞台芸術フェスティバル『北九州芸術工業地帯』」を実施した。

次に、音楽文化の振興では「響ホール」を中心に「創る」「育つ」「聴く」「支える」をコンセプトとし、音楽専用ホールとしての特性を生かした質の高い音楽鑑賞の機会の提供、音楽の手法を用いた人材育成・教育普及事業の実施及び地域の音楽文化の担い手の育成・継承、オリジナルコンサートの制作・公演を行うなど多様な事業を行った。

開館25周年を迎えた平成30年度は、「響ホール25th」と銘打ったコンサートや市民センター等を訪問する地域訪問コンサート、ワンコイン・コンサートを実施し、響ホールの認知度向上と新たな観客層へのアプローチを行った。育成事業としては、情操豊かな子どもたちの育成のための「北九州市少年少女合唱団」と「北九州市ジュニアオーケストラ」の運営、地域の音楽文化育成事業として、学校等への訪問コンサートを行い、音楽ファンの裾野拡大や地元アーティストの育成・活用等を図る「音楽アウトリーチ事業」を実施した。

また、平成30年度から本財団主催となった2018北九州国際音楽祭を実施した。

また、情報提供事業としては、芸術文化情報センターの運営や文化情報誌「CulCul・かるかる」、公演情報誌「情報誌Q」を刊行し、市内の芸術文化活動の周知及び公演情報の提供を行った。

その他、埋蔵文化財に関する発掘調査及び保存、調査研究や報告書刊行の事業と埋蔵文化財センターの維持管理等を北九州市などから受託している。

埋蔵文化財発掘調査等については、発掘13件・整理11件、合計24件の事業を実施した。

《文化創造事業の実施》

1 舞台芸術の振興

(1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を製作し、公演を実施した。

事業名	場所・時期等	入場者数等
北九州芸術劇場プロデュース 九州男児劇「せなに泣く」	[稽古見学・一般公開稽古] 北九州芸術劇場創造工房 11月 全4回 [公演] 北九州芸術劇場小劇場 11月29日(木)～12月2日(日) 5公演	稽古見学・ 一般公開稽古 延べ73人 公演 559人

北九州芸術劇場×パリ市立劇場×山海塾 共同プロデュース 山海塾「Arc 薄明・薄暮」世界初演	[関連企画] プレトーク企画「SALON du Sankai Juku」 カフェカウサ 3月15日(金) [公演] 北九州芸術劇場中劇場 3月23日(土)～24日(日) 2公演	関連企画 7人 公演 781人
その他2事業	北九州芸術劇場中劇場ほか 4月～3月 37公演等	計延べ 1,108人

(2) 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献した。

事業名	場所・時期等	参加者数
夏休み！子どもの劇場体験2018	北九州芸術劇場小劇場ほか 7月30日(月)～8月2日(木) ※7月29日は台風のため中止	職場体験コース 15人 演劇体験コース 15人
東筑紫学園高等学校演劇類型との 連携事業	東筑紫学園高等学校 12月10日(月)、2月19日(火)	延べ 51人
その他8事業 後掲：(6)支援事業1事業を含む	北九州芸術劇場、 市立小・中・特別支援学校ほか 6月～3月	計延べ 1,719人

(3) 公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供した。

事業名	場所・時期等	入場者数
新国立劇場作品 「赤道の下のマクベス」	北九州芸術劇場中劇場 4月15日(日) 1公演	431人
NODA・MAP 第22回公演 「贗作 桜の森の満開の下」	北九州芸術劇場大ホール 10月25日(木)～29日(月) 6公演	7,006人
その他13事業 後掲：(6)支援事業2事業を含む	北九州芸術劇場大ホール、中劇場ほか 6月～2月 44公演等	計延べ 8,267人

(4) 提携・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業提携等により、様々なジャンルの公演を実施した。

事業名	場所・時期等	入場者数
ゴジゲン 第15回公演 「君が君で君で君を君を君を」	北九州芸術劇場小劇場 10月19日(金)～21日(日) 3公演	354人

コント集団カジャラ 第4回公演 「怪獣たちの宴」	北九州芸術劇場中劇場 3月29日(金)～30日(土) 2公演	1,261人
その他3事業	北九州芸術劇場小劇場ほか 4月～3月 8公演等	計1,018人

(5) 北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用し、「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担った。

事業名	場所・時期等	入場者数
平成30年度北九州舞台芸術フェスティバル「北九州芸術工業地帯」(支援事業)	北九州市内各所 9月～3月 35公演等	1,210人

(6) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスを行い、市民の文化活動を支援したほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施した。

事業名	場所・時期等	参加者数
シアターラボ2019(学芸事業)	北九州芸術劇場小劇場、創造工房ほか 7月～3月 23公演等	255人
「劇トツ×20分」2018(公演事業)	北九州芸術劇場創造工房 7月8日(日) 1公演	156人
ダンスダイブウィーク(公演事業)	北九州芸術劇場小劇場ほか 8月～9月 15公演等	598人
平成30年度北九州舞台芸術フェスティバル「北九州芸術工業地帯」<再掲>	(5)北九州舞台芸術フェスティバル参照	

(7) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施した。

事業名	場所・時期等	入場者数
第48回北九州市ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場	各市民会館、黒崎ひびしんホール、 北九州芸術劇場大ホール 5月21日(月)～28日(月) 7公演	4,120人
人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館大ホール 3月7日(木) 2公演	855人

2 音楽文化の振興

(1) 創造事業

響ホールオリジナルの公演を制作し、実施するほか、地域との連携による新たな取組みを行った。

事業名	場所・時期等	入場者数
響ホール 25th YAHATA MUSIC PROJECT 響ホールフェスティバル 2018 (連携事業)	[YAHATA MUSIC PROJECT (地域連携)] 地域訪問コンサートほか 4月～1月 17回 [響ホールフェスティバル] 響ホール 6月23日(土)～24日(日) 2公演	548人 1,959人 *イベント含む
響ホール 25th 実験的音楽空間 REFINE～音も身体も～	市内施設等 [ワークショップ] 10月～1月 7回 響ホール [公演] 2月8日(金) 1公演	ワークショップ 68人 公演 115人

(2) 公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供した。

事業名	場所・時期等	入場者数
響ホール 25th 石坂団十郎 (チェロ) 小菅優 (ピアノ)	八幡南高等学校 [地域訪問コンサート] 6月8日(金) 1回 響ホール [公演] 6月9日(土) 1公演	地域訪問 70人 公演 290人
響ホール 25th ワンコイン・コンサート	市民センター等 [地域訪問コンサート] 5月～1月 8回 響ホール [公演] 5月～1月 5公演	地域訪問 509人 公演 1,276人
その他7事業	市民センター等 [地域訪問コンサート] 29回 響ホール [アナリーゼ・ワークショップ] 3回 [公演] 8月～3月 7公演	地域訪問 1,414人 ワークショップ 128人 公演 2,472人

(3) 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行った。

事業名	場所・時期等
音楽アウトリーチ事業	市内小学校 10月～11月 3カ所・7回
小・中学校合唱講習会	響ホール 7月24日(火)～26日(木)
その他12事業 後掲：(4)支援事業2事業、(7)地域文化 振興事業2事業を含む	響ホールほか 4月～3月

(4) 支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、地元演奏家の公演企画等により、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図った。

事業名	場所・時期等	入場者数
第42回北九州市レディースコーラスフェスティバル(育成事業)	響ホール 3月21日(木・祝)	1,447人
その他2事業 前掲：(3)育成事業1事業を含む	響ホールほか 4月～3月	944人

(5) 連携事業

様々な団体等と交流・連携・協働しながら、音楽を中心とした芸術文化の振興や芸術文化の力を活かしたまちづくり等の取組みを行った。

事業名	場所・時期等	入場者数等
NHK ベストオブクラシック公開収録	響ホール 6月29日(金)	504人
その他2事業 前掲：(1)創造事業1事業を含む	響ホールほか 4月～1月	591人

(6) 北九州国際音楽祭事業

1988年に市制25周年を記念し創設され、31回目の開催となる北九州国際音楽祭を、本市の目指す「暮らしを彩る」まちづくりの取組みの柱の1つとして実施した。

事業名	場所・時期等	入場者数
有料プログラム 8公演	響ホールほか 10月13日(土)～11月23日(金・祝)	3,775人
教育プログラム 4事業	響ホールほか 10月12日(金)～11月20日(火)	3,803人
特別プログラム 10事業	響ホールほか 5月10日(木)～11月26日(月)	980人

市民企画事業 7事業	響ホールほか 7月27日(金)～9月30日(日)	1,802人
協賛事業 8事業	北九州芸術劇場大ホールほか 9月1日(土)～12月21日(金)	5,920人

(7) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施した。

事業名	場所・時期等	入場者数
北九州市・大連市合唱交流演奏会 (育成事業)	戸畑市民会館大ホール 10月20日(土)	460人
合唱組曲「北九州」演奏会(育成事業)	アルモニーサンク北九州ソレイユホール 3月17日(日)	1,212人

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

文化情報誌「CulCul・かるかる」(毎月1日発行/8,100部)及び北九州芸術劇場&響ホール情報誌「情報誌Q」(年4回発行/16,000部)の発行や芸術文化情報センターの運営(来場者数26,509人)などを行い、市内の芸術文化活動の周知や公演情報の提供を図った。

《芸術文化施設の管理》

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として運営及び管理を実施した。

施設名	平成30年度		平成29年度		増減比較	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
北九州芸術劇場	1,477	255,111	1,641	277,035	▲164	▲21,924
響ホール	2,224	58,043	1,781	60,480	443	▲2,437
大手町練習場	7,690	93,570	8,234	98,087	▲544	▲4,517
計	11,391	406,724	11,656	435,602	▲265	▲28,878

*北九州芸術劇場は修繕工事により平成30年12月3日～平成31年2月28日を全館閉館

《市有施設の維持管理》

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行った。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素化センター、駐車場	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(指定管理)

《埋蔵文化財の発掘調査研究》

北九州市などから委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存、普及活動等を行った。

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理

平成 30 年度庁舎建替え（金田遺跡第 3 地点）や折尾土地区画整理事業（東側・鉄道跡地地区）（左近田遺跡）など 13 件の発掘調査を行うとともに、「(仮称) 平和資料館」建設事業（小倉城御用屋敷跡）など 11 件の整理業務を行った。

2 報告書等の刊行

小倉城御用屋敷跡など全 8 冊（8 事業）の埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行した。また、埋蔵文化財に関する調査研究として、年報及び研究紀要各 1 冊を刊行した。

3 埋蔵文化財に関する普及活動

(1) 遺跡発掘報告会

平成 30 年度に行った発掘調査のうち、話題性の高い 4 遺跡について、市民を対象に報告会を実施した。参加者 85 名。

(2) 埋蔵文化財速報展

最近の調査で出土した文化財を展示する埋蔵文化財速報展を実施した。

第1回	「城下町小倉」から「軍都小倉」へ—小倉城御用屋敷跡の調査から—
第2回	「弥生から中世の村と祭祀—祇園町遺跡第 12 地点の調査から—
第3回	「焼け落ちた天守閣—小倉城天守台石垣と内堀の発掘調査から—

(3) 市民向け及び小・中学生向け考古学講座

市民及び小・中学生を対象にした考古学講座を実施した。計 13 回、参加者延べ 313 名。

(4) 現地説明会

金田遺跡第 3 地点で発見した遺構や出土した遺物を現地で学芸員が市民に解説。参加者 90 名。

4 埋蔵文化財センターの施設管理

埋蔵文化財の発掘調査や、出土品その他の考古資料の整理、収蔵及び研究等を行う埋蔵文化財センターの施設管理を受託し、維持管理を行った。年間総入館者数は 4,186 人。

《地域文化の情報提供》

1 市民生活・文化の振興事業

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」の刊行

事業名	時期等	内容等
文化情報誌 「CulCul・かるかる」 の刊行	毎月 1 日発行/ 8,100 部	演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。フリーペーパーだけでなく、ホームページでも情報発信した。

2 書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を市内書店及び当財団ホームページで販売した。

取扱い書籍は、次のとおりである。

「北九州市史」(全 10 巻)、「北九州むかしばなし」「きたきゅう発掘! 考古学ノート」「続・海峡の風」「火野葦平とゆかりの人びと」「北九州市の野鳥たち」「川が変えたまち」「門司港レトロ物語」「ひろば北九州バックナンバー」

3 文化施設の情報提供事業 (ホームページ)

「CulCul・かるかる」に掲載の記事と文化施設の催事情報をタイムラインで情報発信するメディアサイトの管理を行った。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末などウィンドウサイズに合わせて自動的にページのデザインを最適化するレスポンシブウェブデザインを起用した。4 月からはカレンダー機能も追加し掲載件数を増やし、多様な催事情報を提供した。各機関からの情報や、取材などをもとにタイムリーな情報提供を行った。

Ⅲ 平成 30 年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	240,196,387	297,032,999	▲ 56,836,612
未収金	104,611,148	108,513,219	▲ 3,902,071
前払金	132,770	3,277,542	▲ 3,144,772
立替金	0	3,160	▲ 3,160
流動資産合計	344,940,305	408,826,920	▲ 63,886,615
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	17,927,535	16,623,443	1,304,092
施設利便性向上事業積立資産	13,277,592	8,706,800	4,570,792
記念公演事業積立資産	11,500,000	5,000,000	6,500,000
埋蔵文化財整理活用事業積立資産	3,200,000	0	3,200,000
特定資産合計	45,905,127	30,330,243	15,574,884
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計			
固定資産合計	50,905,127	35,330,243	15,574,884
資産合計	395,845,432	444,157,163	▲ 48,311,731
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	186,816,810	253,063,544	▲ 66,246,734
未払消費税等	7,739,500	7,239,800	499,700
前受金	19,428,184	23,260,910	▲ 3,832,726
預り金	12,176,503	10,677,454	1,499,049
未払法人税等	940,800	1,008,300	▲ 67,500
賞与引当金	21,608,684	21,636,038	▲ 27,354
流動負債合計	248,710,481	316,886,046	▲ 68,175,565
2. 固定負債			
退職給付引当金	17,927,535	16,623,443	1,304,092
固定負債合計	17,927,535	16,623,443	1,304,092
負債合計	266,638,016	333,509,489	▲ 66,871,473
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	129,207,416	110,647,674	18,559,742
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(27,977,592)	(13,706,800)	(14,270,792)
正味財産合計	129,207,416	110,647,674	18,559,742
負債及び正味財産合計	395,845,432	444,157,163	▲ 48,311,731

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	500	500	0
基本財産運用益計	500	500	0
特定資産運用益			
特定資産受取利息	39,035	0	39,035
特定資産運用益計	39,035	0	39,035
受取会費			
チケットクラブ会費収益	814,700	959,100	▲ 144,400
受取会費計	814,700	959,100	▲ 144,400
事業収益			
指定管理事業収益	1,140,168,118	1,132,579,245	7,588,873
市受託事業収益	159,601,496	156,999,521	2,601,975
文化振興事業収益	150,484,120	111,388,730	39,095,390
出版事業収益	234,940	345,680	▲ 110,740
埋蔵文化財事業収益	41,049,000	60,578,900	▲ 19,529,900
手数料収益	2,875,957	3,253,416	▲ 377,459
事業収益計	1,494,413,631	1,465,145,492	29,268,139
受取補助金等			
受取国庫補助金	63,570,279	62,534,443	1,035,836
受取地方公共団体補助金	125,082,531	90,618,265	34,464,266
受取民間助成金	6,200,000	10,151,000	▲ 3,951,000
受取補助金等計	194,852,810	163,303,708	31,549,102
受取負担金			
受取負担金	4,211,000	4,486,592	▲ 275,592
受取負担金計	4,211,000	4,486,592	▲ 275,592
雑収益			
雑収益	832,450	864,250	▲ 31,800
雑収益計	832,450	864,250	▲ 31,800
経常収益計	1,695,164,126	1,634,759,642	60,404,484
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	7,511,940	7,400,520	111,420
給料手当	234,424,503	244,177,683	▲ 9,753,180
臨時雇賃金	91,931,293	85,021,512	6,909,781
退職給付費用	1,304,092	1,889,926	▲ 585,834
賞与引当金繰入	20,021,607	20,433,401	▲ 411,794
福利厚生費	58,482,232	61,611,544	▲ 3,129,312
会議費	17,056	10,656	6,400
旅費交通費	5,492,400	6,581,160	▲ 1,088,760
招聘旅費交通費	26,610,299	22,660,130	3,950,169
通信運搬費	10,803,716	9,945,886	857,830
消耗什器備品費	1,944,188	2,100,996	▲ 156,808
消耗品費	20,499,888	15,640,972	4,858,916
修繕費	8,465,396	5,746,751	2,718,645

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
印刷製本費	15,723,222	20,169,853	▲ 4,446,631
燃料費	538,187	566,035	▲ 27,848
光熱水料費	29,025,861	30,571,542	▲ 1,545,681
賃借料	37,859,603	35,059,527	2,800,076
著作権使用料	735,548	655,132	80,416
保険料	2,210,630	1,539,270	671,360
諸謝金	23,272,321	22,469,754	802,567
租税公課	31,849,976	32,392,614	▲ 542,638
支払負担金	417,596,038	422,292,785	▲ 4,696,747
支払助成金	2,000,000	0	2,000,000
委託費	560,462,605	503,541,940	56,920,665
工事請負費	4,924,368	6,327,612	▲ 1,403,244
支払手数料	8,104,793	5,310,206	2,794,587
広告宣伝費	15,932,549	16,742,415	▲ 809,866
諸会費	233,208	221,544	11,664
ケータリング費	1,673,537	1,916,772	▲ 243,235
雑費	438,310	261,868	176,442
事業費計	1,640,089,366	1,583,260,006	56,829,360
管理費			
役員報酬	376,000	411,000	▲ 35,000
給料手当	18,319,952	19,213,119	▲ 893,167
臨時雇賃金	1,379,043	0	1,379,043
賞与引当金繰入	1,587,077	1,202,637	384,440
福利厚生費	4,077,539	3,838,586	238,953
会費	45,438	41,173	4,265
旅費交通費	126,160	275,110	▲ 148,950
招聘旅費交通費	20,290	80,720	▲ 60,430
通信運搬費	510,921	488,785	22,136
消耗品費	722,491	516,392	206,099
印刷製本費	518,400	301,644	216,756
燃料費	16,673	13,889	2,784
賃借料	3,526,563	3,829,581	▲ 303,018
保険料	73,340	67,350	5,990
諸謝金	1,465,095	1,413,900	51,195
租税公課	1,273,524	1,238,386	35,138
支払負担金	168,400	96,000	72,400
委託費	1,161,648	1,795,118	▲ 633,470
支払手数料	11,124	5,534	5,590
諸会費	166,740	169,840	▲ 3,100
雑費	27,800	22,900	4,900
管理費計	35,574,218	35,021,664	552,554
経常費用計	1,675,663,584	1,618,281,670	57,381,914
評価損益等調整前当期経常増減額	19,500,542	16,477,972	3,022,570
当期経常増減額	19,500,542	16,477,972	3,022,570

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	19,500,542	16,477,972	3,022,570
法人税、住民税及び事業税	940,800	1,008,300	▲ 67,500
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	18,559,742	15,469,672	3,090,070
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	110,647,674	95,178,002	15,469,672
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	129,207,416	110,647,674	18,559,742
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	129,207,416	110,647,674	18,559,742

IV 令和元年度事業計画

《概要》

北九州市においては、『元気発進！北九州』プランの中で、暮らしを彩るため、「生活に根づき、誇れる文化・スポーツの振興」を目標に掲げ、芸術・文化の振興を図ることとしている。

これを受けて当財団は、市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、優れた芸術文化に接する機会を提供すること、芸術文化を通して青少年の育成をはかること、市内外に向けて芸術文化情報の発信に努めることなど、様々な公演事業や育成事業、情報提供事業等を実施し、芸術文化の振興と芸術文化を核としたまちづくりを目指していく。

また、併せて北九州芸術劇場等の芸術文化施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査を行う。

さらに、文化に関する情報提供機能を再編し、広域かつ幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興への寄与を高めていくこととする。

《文化創造事業の実施》

令和元年度から5年間の指定管理者となっている北九州芸術劇場、北九州市立響ホール、北九州市立大手町練習場の3つの芸術文化施設について、管理運営を行う。

これら3施設については、

- ① 北九州芸術劇場と響ホールは北九州地域の舞台芸術・音楽文化の拠点施設
- ② 大手町練習場は両施設の補完、及び市民の芸術文化活動の支援施設

と位置づけ、舞台芸術については「創る」「育つ」「観る」「支える」、音楽文化については「創る」「育つ」「聴く」「支える」「つながる」をコンセプトとし、これらに沿った事業を推進していくとともに、市民の文化活動の支援など、地元に着目した事業運営と芸術文化情報の収集・提供を行っていく。

また、北九州市からの指定管理事業として、市民の多様な芸術文化ニーズに対応した公演事業や育成事業を実施し、芸術文化の振興に寄与する。

1 舞台芸術の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する北九州芸術劇場を利用して積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を製作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等
北九州芸術劇場ダンスクリエイション 「ギミックス」	[ワークショップ] 北九州芸術劇場創造工房 4月12日(金)～14日(日) 出演者対象 4月14日(日) 一般対象 ※熊本・大分・宮崎での実施あり
	[公演] 北九州芸術劇場小劇場 9月14日(土)～15日(日) 2公演 ※宮崎・熊本公演あり

北九州芸術劇場クリエイション・シリーズ 「タイトル未定（新作）」	[ワークショップ] 9月21日（土）～23日（月・祝）出演者対象 10月26日（土）～27日（日）出演者対象 [公演] 北九州芸術劇場小劇場 2月27日（木）～3月1日（日） 5公演 ※伊丹公演あり
その他2事業	北九州芸術劇場中劇場、小劇場ほか 5月～10月

(2) 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献する。

事業名	場所・時期等
キタQアーティストふれあいプログラム	市内小・中・特別支援学校ほか 6月～2月
ひとまち+アーツ協働事業	北九州芸術劇場・市内施設ほか 6月～3月
その他7事業	北九州芸術劇場ほか 4月～3月

(3) 公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供する。

事業名	場所・時期等
パルコ・プロデュース「世界は一人」	北九州芸術劇場大ホール 4月13日（土）～14日（日） 2公演
NODA・MAP 第23回公演 「Q:A Night At The Kabuki」	北九州芸術劇場大ホール 10月31日（木）～11月4日（月・休） 6公演
その他13事業	北九州芸術劇場大ホール、中劇場ほか 6月～3月

(4) 提携・共催・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業提携等により、さまざまなジャンルの公演を実施する。

事業名	場所・時期等
ベッド&メイキングス 第6回公演 「こそぎ落としの明け暮れ」	北九州芸術劇場小劇場 4月13日（土）～14日（日） 3公演
PARCOプロデュース2019 「人形の家 Part2」	北九州芸術劇場中劇場 9月6日（金）～7日（土） 2公演
その他13事業	北九州芸術劇場小劇場ほか 4月～3月

(5) 北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用して「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担う。

事業名	場所・時期等
令和元年度北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」(支援事業)	北九州市内各所 4月～3月

(6) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施する。

事業名	場所・時期等
「劇トツ×20分」2019(公演事業)	北九州芸術劇場小劇場 7月14日(日) 1公演
ダンスダイブウィーク(公演事業)	北九州芸術劇場、市内各所 9月14日(土)～29日(日)
令和元年度北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」<再掲>	(5)北九州舞台芸術フェスティバル参照

(7) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等
第49回北九州市ファミリー劇場 —角笛シルエット劇場—	各市民会館、黒崎ひびしんホール、 北九州芸術劇場大ホール 5月20日(月)～27日(月) 7公演
人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館大ホール 3月8日(日) 2公演

2 音楽文化の振興

(1) 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを制作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等
響ホールフェスティバル 2019	[本公演・関連イベント] 響ホール 6月22日(土)～23日(日) 2公演 [地域訪問コンサート] イオンモール八幡東 6月8日(土)～9日(日)、16日(日) 各日2回(計6回)
響ホールプロデュース 創作オペラ「フィガロの結婚」(仮)	響ホール 2月2日(日) 1公演

(2) 公演事業

音楽専用ホールとしての響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。

事業名	場所・時期等
リサイタル・シリーズ ～アーティスト・イン・レジデンス～	響ホール 7月～2月 4公演 (地域訪問コンサート、アナリーゼ・ワークショップを併せて実施)
ワンコイン・コンサート ～アーティスト・イン・レジデンス～	響ホール 4月～2月 6公演 (地域訪問コンサートを併せて実施)
その他2事業	響ホール 12月 3公演 (地域訪問コンサートを併せて実施)

(3) 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行う。

事業名	場所・時期等
中学校合唱講習会	響ホール 7月24日(水)～25日(木)
合唱組曲「北九州」演奏会	アルモニーサンク北九州ソレイユホール 2月24日(月・休)
その他9事業 後掲：(4)支援事業2事業を含む	響ホールほか 4月～3月

(4) 支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図る。

事業名	場所・時期等
第43回北九州少年少女合唱祭（育成事業）	戸畑市民会館大ホール 7月14日（日）
第43回北九州市レディースコーラスフェスティバル（育成事業）	響ホール 3月14日（土）
響ホールお迎えバス	響ホール 4月～3月

(5) 連携事業

様々な団体等と交流・連携・協働しながら、音楽を中心とした芸術文化の振興や芸術文化の力を活かしたまちづくり等の取組みを行う。

事業名	場所・時期等
YAHATA MUSIC PROJECT ～音楽でつながるひととまち～	響ホールほか 通年
避難訓練コンサート	響ホール 8月31日（土）

(6) 北九州国際音楽祭事業

1988年に市制25周年を記念し創設され、32回目の開催となる北九州国際音楽祭を、本市の目指す「暮らしを彩る」まちづくりの取組みの柱の1つとして実施する。

事業名	場所・時期等
有料プログラム 7公演	響ホールほか 10月6日（日）～11月24日（日）
教育プログラム 4事業	響ホールほか 10月8日（火）～11月1日（金）
特別プログラム 9事業	響ホールほか 8月3日（土）～11月24日（日）
市民企画事業 6事業	北九州芸術劇場小劇場 7月26日（金）～9月29日（日）
協賛事業	北九州市内で9月2日（月）～12月27日（金）に開催されるクラシック音楽等の公演を対象に公募

(7) 地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等
合唱組曲「北九州」演奏会<再掲>	(3) 育成事業参照

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

文化情報誌「CulCul・かるかる」（毎月1日発行/奇数月号：冊子10,000部・PDF、偶数月号：PDF）及び北九州芸術劇場&響ホール情報誌「情報誌Q」（年3回発行/80,000部）の発行や、芸術文化情報センターの運営などにより、市内の芸術文化活動の周知や公演情報の提供を図る。

《芸術文化施設の管理》

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として管理を実施する。指定管理の期間は、平成31年4月1日から令和6年3月31日まで。

《市有施設の維持管理》

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行う。指定管理の期間は、平成31年4月1日から令和6年3月31日まで。

《埋蔵文化財の発掘調査研究》

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与する。

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理

令和元年度庁舎建て替え（金田遺跡第3地点）など11件の発掘調査を行うとともに、小倉城天守台跡石垣測量業務（小倉城天守台跡）など13件の整理事業を行う。

2 報告書等の刊行

小倉城大手門前施設建築事業など全10冊（10事業）の埋蔵文化財調査報告書を刊行する。また、埋蔵文化財に関する調査研究として、年報及び研究紀要を刊行する。

3 埋蔵文化財に関する普及活動

埋蔵文化財に関する市民の理解を深めるため、市民考古学講座やこども考古学講座、遺跡発掘報告会などを行う。

4 埋蔵文化財センターの維持管理

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで、北九州市立埋蔵文化財センターの維持管理を行う。

《地域文化の情報提供》

1 北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」の刊行事業

演劇・音楽・文芸・美術・漫画・自然史・歴史・文化財など文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と市内文化施設での催事案内をフリーペーパー（冊子）として奇数月に年6回、定期刊行する。奇数月号の冊子は劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など合計約320カ所に設置し無料配布する。

さらに情報の質・量を補うためイベントカレンダーのみを偶数月に年6回PDFにて作成する。奇数月号・偶数月号ともにPDFをホームページに掲載する。

また、ホームページなどのデジタルコンテンツも活用し、広域かつ世代を超えた情報発信を行う。

2 文化施設の情報提供事業（ホームページ）

「CulCul・かるかる」に掲載の記事と文化施設の催事情報「イベントカレンダー」を配信するメディアサイト「CulCul・かるかる」（<http://kitakyushu-culcul.jp/>）の管理を行う。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末などさまざまなデジタルデバイスに対応しながら、多様な催事情報を提供する。各機関からの情報収集や、取材を積極的に行いコンテンツの充実を図り、タイムリーな情報提供を行う。

3 書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を市内書店及び当財団ホームページで販売する。

取扱い書籍は次のとおりである。

「北九州市史」（全10巻）、「北九州むかしばなし」「きたきゅう発掘！考古学ノート」「続 海峡の風」「火野葦平とゆかりの人びと」「北九州市の野鳥たち」「川が変えたまち」「門司港レトロ物語」「ひろば北九州バックナンバー」

V 令和元年度予算

収支予算書（総括表）

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日 （単位：千円）

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1			0	1
特定資産運用益			3	0	3
受取入金				0	0
受取会費	1,430			0	1,430
チケットクラブ会費	1,430			0	1,430
事業収益	1,569,456	102,840	27,358	0	1,699,654
指定管理事業収益	1,021,398	96,999	27,358	0	1,145,755
市受託事業収益	202,655	115		0	202,770
文化振興事業収益	172,053			0	172,053
チケット収入	160,724			0	160,724
物販収入	2,700			0	2,700
受講料・参加料	3,484			0	3,484
その他事業収入	5,145			0	5,145
出版事業収益		376		0	376
購読収入		376		0	376
埋蔵文化財事業収益	173,350			0	173,350
手数料収益		5,350		0	5,350
チケット送付手数料		100		0	100
カード送付手数料		200		0	200
チケット販売手数料		800		0	800
自販機等受取手数料		2,900		0	2,900
その他手数料		1,350		0	1,350
受取補助金等	200,973		8,750	0	209,723
受取国庫補助金	56,090			0	56,090
文化庁	56,090			0	56,090
受取地方公共団体補助金	139,818		8,750	0	148,568
市芸術文化振興	139,818		8,750	0	148,568
受取民間助成金	5,065			0	5,065
地域創造	5,065			0	5,065
受取負担金	4,065			0	4,065
雑収益		2,201	75	0	2,276
その他雑収益		2,201	75	0	2,276
施設利便性向上事業積立資産取崩	4,340			0	4,340
経常収益計	1,780,265	105,041	36,186	0	1,921,492
(2) 経常費用					
事業費	1,801,091	99,021		0	1,900,112
役員報酬	7,552			0	7,552
給料手当	246,429	6,741		0	253,170
臨時雇賃金	165,560			0	165,560
退職給付費用	1,958			0	1,958
賞与引当金繰入	19,405	617		0	20,022
福利厚生費	75,948	1,126		0	77,074
会議費	71			0	71

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合 計
旅 費 交 通 費	10,763	62		0	10,825
招 聘 旅 費 交 通 費	49,170			0	49,170
通 信 運 搬 費	12,822	200		0	13,022
消 耗 什 器 備 品 費	2,045	202		0	2,247
消 耗 品 費	23,488	2,800		0	26,288
修 繕 費	6,113	4,564		0	10,677
印 刷 製 本 費	31,277			0	31,277
燃 料 費	823			0	823
光 熱 水 料 費	5,764	26,291		0	32,055
賃 借 料	43,866	1,292		0	45,158
著 作 權 使 用 料	1,129			0	1,129
保 險 料	4,585	200		0	4,785
諸 謝 金	25,663			0	25,663
租 税 公 課	44,110	2,843		0	46,953
支 払 負 担 金	431,442	1,020		0	432,462
支 払 助 成 金	2,000			0	2,000
委 託 費	543,638	50,967		0	594,605
工 事 請 負 費	10,530			0	10,530
支 払 手 数 料	13,679	85		0	13,764
広 告 宣 伝 費	15,592			0	15,592
諸 会 費	734			0	734
ケ ー タ リ ン グ 費	2,173			0	2,173
雑 費	2,762	11		0	2,773
管 理 費			39,246	0	39,246
役 員 報 酬			633	0	633
給 料 手 当			19,996	0	19,996
賞 与 引 当 金 繰 入			1,587	0	1,587
福 利 厚 生 費			4,332	0	4,332
会 議 費			92	0	92
旅 費 交 通 費			300	0	300
招 聘 旅 費 交 通 費			60	0	60
通 信 運 搬 費			560	0	560
消 耗 什 器 備 品 費			150	0	150
消 耗 品 費			687	0	687
修 繕 費			74	0	74
印 刷 製 本 費			491	0	491
燃 料 費			65	0	65
賃 借 料			4,201	0	4,201
保 險 料			100	0	100
諸 謝 金			1,698	0	1,698
租 税 公 課			2,206	0	2,206
支 払 負 担 金			195	0	195
委 託 費			1,602	0	1,602
支 払 手 数 料			15	0	15
諸 会 費			167	0	167
雑 費			35	0	35
経 常 費 用 計	1,801,091	99,021	39,246	0	1,939,358
当 期 経 常 増 減 額	▲ 20,826	6,020	▲ 3,060	0	▲ 17,866

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合 計
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益				0	0
(2) 経常外費用				0	0
当期経常外増減額				0	0
他会計振替額	1,488	▲ 1,488		0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 19,338	4,532	▲ 3,060	0	▲ 17,866
法人税等		1,000		0	1,000
当期一般正味財産増減額	▲ 19,338	3,532	▲ 3,060	0	▲ 18,866
一般正味財産期首残高	74,479	20,730	15,438	0	110,647
一般正味財産期末残高	55,141	24,262	12,378	0	91,781
II 指定正味財産増減の部				0	0
III 正味財産期末残高	55,141	24,262	12,378	0	91,781

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和元年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長 (代表理事)	北橋健治	北九州市長
専務理事 (代表理事)	柴田邦江	(常勤)
理事	今川英子	北九州市立文学館館長
〃	大島まな	九州女子大学人間科学部教授
〃	大曾根聡子	NHK北九州放送局長
〃	島田亜希子	マリンバ奏者
〃	城水悦子	(公財)北九州活性化協議会副理事長 (株)洋建築計画事務所代表取締役
〃	民谷陽子	北九州市民劇場事務局長
〃	辻田淳一郎	九州大学大学院人文科学研究院准教授
〃	龍亜希	北九州芸術劇場プロデューサー
監事	石井佳子	北九州市会計室長
〃	二郎丸聡夫	北九州商工会議所理事・事務局長

2 市との特命随意契約の状況（平成30年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
平成30年度 埋蔵文化財発掘 管理等業務	15,080	文化庁の通知及び「九州地区埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な市内業者および準市内業者で、本市登録業者は公益財団法人北九州市芸術文化振興財団のみであるため発掘調査業務を特命随意契約で締結している。本業務は、それを履行するにあたり付随的に発生する業務であるため、これも特命随意契約とするもの。	電気設備保安管理業務（北九州市立埋蔵文化財センター）	257	㈱ふちわき	随意契約 (見積合わせ)	製造メーカー以外の業者では、交換部品の安定供給や迅速な故障解析等の適切な保守点検が困難であるため。
			消防設備保守点検業務（北九州市立埋蔵文化財センター）	247	㈱北九州消防設備保守センター	随意契約 (見積合わせ)	
			エレベーター保守点検業務（北九州市立埋蔵文化財センター）	713	東芝エレベーター㈱	随意契約 (特命)	
			空調保守点検業務（北九州市立埋蔵文化財センター）	272	三和産業㈱	随意契約 (見積合わせ)	
平成30年度 埋蔵文化財発掘 調査等業務（西小倉なかよし学 童クラブ新築工 事）	6,895	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				
平成30年度 埋蔵文化財発掘 調査等業務 （「(仮称) 平和 資料館」建設事 業）	8,376	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				
平成30年度 埋蔵文化財発掘 調査等業務（折 尾 総合整備事 業）	6,766	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
平成30年度埋蔵文化財発掘調査等業務(平成30年度庁舎建替え)	48,407	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				
平成30年度埋蔵文化財発掘調査等業務(9号線(高野工区)街路事業)	1,767	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				
平成30年度埋蔵文化財発掘調査等業務(小倉城天守台跡石垣測量業務)	3,774	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				
平成30年度埋蔵文化財発掘調査等業務(折尾土地区画整理事業(東側・鉄道跡地地区))	28,502	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				
平成30年度埋蔵文化財発掘調査等業務(中貫貫弥生が丘1号線道路改築事業)	10,466	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
平成30年度 埋蔵文化財発掘 調査等業務（(仮 称) 平和資料館 周辺整備事業）	2,502	文化庁の通知及び「北九州市埋蔵文化財発掘調査基準」は、実施主体について「原則として自治体またはその設立に係る発掘調査機関が実施する」と規定されているが、本市での発掘調査が困難な場合の委託先として、調査体制が整い正確な発掘調査が可能な本市登録市内業者および準市内業者は、同財団のみであるため。	再委託なし				
地域文化の情報 提供事業業務	19,653	情報誌の作成にあたって、適切な監修者、編集者、カメラマン、デザイナーなどの人材を確保したうえで、情報収集、企画立案、ページ構成、執筆者の選定、取材先との交渉など情報誌にかかる一切の業務を行うこと、作成した情報誌を電子版でも公開し、広く情報発信を行うことを条件に、公募を実施した。結果的に当該業務を履行できるものは当該財団のみであり、他に履行できるものがいなかったため。	情報誌の作成業務	4,461	瞬報社写真印刷㈱	指名競争入札	
		ホームページ作成にあたっては、既にある芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」の掲載内容を基礎情報とし、「CulCul・かるかる」を制作しているものにホームページ作成を依頼することで、各文化施設の情報及び各文化施設との掲載内容の調整のノウハウなどを活用でき、経費の節減が図られ、効率的に業務を遂行できる。このため、「CulCul・かるかる」を作成している当該財団に業務委託する。	ホームページ制作に係る保守管理	119	(株)ジャム	随意契約 (見積合わせ)	
市民活動サポートセンター・ムーブサテライト印刷機の賃貸料収納事務委託	114	市民の利便が図られ、経費の節減や円滑な業務が可能のため	再委託なし				
合 計	152,302		合 計	6,069			